

シン・投資の  
基本は

FX

で

覚えよう！



**FXが全ての投資の基本と  
言われるワケ**

**ビットコインや株にも応用できる**



## 目次

---

はじめに ～ゆきママが FX にこだわる理由～

### 第 1 章 決定版ゆきママが教える FX の基本

- ・ まずはこれだけ知っておこう
- ・ FX でありがちな失敗 & 疑問を解決

### 第 2 章 ゆきママ流トレード手法で攻略

- ・ 3 ステップでトレードをラクラク成功に導く
- ・ 超簡単ファンダメンタルズの分析手法 3 原則

### 第 3 章 今後の相場の見どころ & 展望

- ・ 世界の中央銀行 FRB が相場を動かす
- ・ 2019 年は米中貿易戦争と IMF が鍵

おわりに

～地に足をつけて真の投資家になろう～



## はじめに ～ゆきママがFXにこだわる理由～

この度は本レポートをお読みいただき、本当にありがとうございます。主に初心者から中級者の方へ向けて書いたレポートですが、ゆきママのトレード手法も載せておりますので、ぜひ上級者の方も参考にいただければ幸いです。

ちなみに、これからFXを始めようという方はFXに対するネガティブな情報を目にしてしまい、少し不安に思っているかもしれません。

例えば、「FXは単なる危険なギャンブルだ」「FXはゼロサムゲーム、勝つ人と同じだけ負ける人がある、プラスサムの株の方が良い」などといった批判は尽きません。

しかし、ゆきママはそうは思いません。最近レバレッジ規制に伴い、以前のように極端なギャンブルトレードはやりにくくなりましたし、日経平均を見れば分かるように右肩下がり期間が20年近くありましたから、株も10年、20年といった長期スパンで投資しなければ、決してプラスサムなどとは言えないでしょう。

むしろ、FXは全ての投資、トレードの基本になると考えています。なぜFXが基本になるかというと、市場における公平性が保たれやすいという点が挙げられます。教科書通りの値動きになる場面が多いため、しっかり勉強することが経験値として確実にプラスになるといえるでしょう。

一方で、例えば株の場合、インサイダー取引からも分かるように、個別株であれば規模が小さいこともあって、ちょっとした情報を事前に知るだけで稼げてしまい、公平性の担保が非常に大きな問題となっています。

さらに、ここ最近はツイッター上での煽りを中心に、LINEなどのSNSでグループを形成し、中小型株の相場操縦をやっていることも明るみとなりつつあります。これでは、私たちのような資金を持たない小口の個人投資家はひとたまりもありませんよね。

過渡期にハイレバレッジで多くの破産者を出したことから、FXはギャンブル的なイメージがつきまとい、あまりその価値が認められていない感もありますが、**市場規模の大きさや国家間の動向で決まる相場は、他の市場と比べてフェアであることを忘れてはならない**と思います。

というわけで、FXでトレードの基本を覚えれば、ビットコインといった暗号資産や株にも応用できますから、ぜひとも本レポートを読んで、その一助にいただければと願っています。



第1章

## 決定版 ゆきママが教えるFXの基本

この章では、FXで絶対に知っておきたい基礎的な知識と、基本的な考え方について解説していきます。初心者ありがちな落とし穴もまとめていますから、しっかり確認した上でトレードに臨んでいただければと思います。



### まずはこれだけ知っておこう

#### ・為替相場の基本は米ドルである

豪ドルや香港ドルなど、ドルにもたくさんの種類がありますが、単に「ドル」という場合は米ドルを意味しますから、覚えておきましょう。まあ間違える人は少ないと思いますけどね。

そして、為替相場において全ての基本となるのが、このドルです。相場を考えるなら、いの一番にドルが強いか弱いか押さえておきたいですね。

#### ・まずはドル円、ユーロドルから

世界で最もトレードされているのがユーロドルで、次いでドル円です。取引高が多いということは、流動性（取引の成立のしやすさ、たくさん注文があるので成立しやすい）が潤沢であり、極端な値動きが出にくいといったメリットがあります。

世界中で注目されていることから情報が得やすく、セオリー通りの値動きが期待できます。また**トレンドも出やすく、かつ見極めやすいですから、初心者の方は特にドル円やユーロドルを中心にトレードすることを検討**したいところでしょう。



## ・ 合成通貨、新興国通貨は要注意

とあるインフルエンサーを中心に、豪ドル円といった合成通貨やポーランドズロチといった新興国通貨が高金利だからという理由で推奨されていますが、トレードする際はできる限り慎重になった方が良いでしょう。

理由は、流動性が低くリスクが高いからです。流動性が低いということは、それだけトレードが成立しにくくなりますから、普段ですらスプレッドが拡大してレートが飛んで予期せぬ損失を被ることがありますし、急激なリスクオフ時はトレードが成立せず、最悪、追証といった事態に追い込まれかねません。

FXではロスカット（強制決済）があり、できるだけ追証といった事態にならないような仕組みが用意されていますが、**流動性の低い合成通貨や新興国通貨は、そもそもトレードが成立しませんから、どんなに仕組みが用意されていても防ぎようがない場合がある**のです。

したがって、高金利通貨だからスワップがもらえるといった理由で、安易に手を出すのは避けた方が無難でしょう。

合成通貨とはクロス通貨とも呼ばれ、存在しない通貨ペアを無理やり合成（クロス）することからそう呼ばれます。

世界中の通貨は米ドルを通じてトレードされていますので、例えば豪ドルを買う場合は円で買うのではなく、最初に円で米ドルを買って、次に米ドルで豪ドルを買います。円→米ドル→豪ドルとなって、クロスがあるわけですね。

このように、豪ドル円、ズロチ円といった通貨ペアは円との関係で相場が決まっているわけではなく、米ドルとの力関係で決まっている部分が非常に大きいので、値動きを見ているようで見えていないという事態に陥りがちでもあります。

日本人はどうしても、円があると安心感からトレードしがちですが、ユーロ円はともかくとして、このほかは国際市場でほとんどトレードがなく、流動性が枯渇していてリスクも大きいので、ご注意ください。と思います。

また、どうしてもトレードする際は、ドル円やユーロドルのトレードよりポジション量を減らし、リスクを減らすようにしましょう。





## ・休む、勝ちにくい相場は手を出さないという選択肢

ゆきママはほぼほぼ専業トレーダーなので、割とコンスタントにトレードしていますが、ほとんどの方は他に仕事を持ちながらFXに取り組んでいる兼業トレーダーかと思います。

なので、ノルマなどがなく、毎日トレードする必要はないですから、自分にとってやりやすい相場、勝ちやすいパターンでだけトレードすることが大切です。

1年の中で80～100%の自信があるタイミングだけトレードすれば、初心者の方でもかなりの確率で勝てるでしょう。

自信がなく、根拠すら曖昧なままでなんとなくポジションを持って、なんとなく損してしまったというトレードをしている方があまりにも多いです。休むも相場と思って、これだけは絶対に避けていただければ幸いです。

### ポイント チェック

- 為替相場の基本は米ドル、トレードもドル円、ユーロドルを
- 合成通貨、新興国通貨をトレードする際は慎重に検討する
- 休むも相場、自分の勝ちやすいパターンのみで勝負する





## FXでありがちな失敗&疑問を解決

### Point 1. 『窓開け』にご用心。ポジションを持ち越す際は一考を！

もしかすると『窓開け』が何を意味するかわからないという方もいらっしゃると思いますが、これは前の時間の終値と次の時間の始値という2つのレートに大きな乖離が発生し、チャート上では広い空間が発生することを『窓が開いた』などと表現します。

そして、この窓は特に週明けに発生しやすいので要注意です。理由としては、レート配信が止まっている土日間に何らかのイベントが発生することで、月曜日の始値レートが金曜日の終値レートから、どうしても大きく離れてしまうことが多いからです。

市場が開いていれば対応することが可能なのですが、土日はどうしてもクローズド状態でテロやクーデターなどが起こったとしても対応することは難しく、指をくわえて眺めているしかありません。結果、週明けに想定以上の損を被ってしまうことになりかねません。

なので、**慣れないうちは金曜日で一旦決済するということを心がけておく**と良いでしょう。また、慣れてきて持ち越す際には、ポジションを調整して減らしておくとか、証拠金に余裕があることを確認するといった癖をつけておきたいところです。

意外と意識されていなかったり、ついつい忘れてしまうのか、初心者の方に非常にありがちな失敗となっています。また、レートそのものが大きく乖離するため、損切り注文（逆指値）を行なっていても、想定レートで決済されずにロスカットされてしまったという最悪のパターンもありえますので、ご注意ください。

### Point 2. 『誤発注』はダメ、絶対！最初は再確認を心がけましょう！

こちらはケアレスミス部門の第1位ですね。FXをやっている方なら、誰もが一度は経験したことがあるでしょう。ですので、初心者の方はなおさら気をつけていただければと思います。



ミスの内容としては、例えば、ロング（買い）とショート（売り）を間違えてしまったり、最近は桁数が増えているため指値や逆指値の数字、取引数量、通貨ペアなどなど、ありとあらゆる『誤発注』パターンがあります。

まさに単純なミスですが、プロの世界でもジェイコム株大量誤発注事件というのがあって、みずほ証券の男性担当者が「61 万円 1 株売り」という注文を「1 円 61 万株売り」としたことで、結果的に約 407 億円の損害になったということがありましたからね。

FX では、証拠金によって自ずと注文量も制限されるため、多少の誤発注でもすぐに気がつけば酷くマイナスになることはないでしょうが、やはり単純なミスですので、特に注意してトレードしていただければと思います。

また、最近はワンクリック（ワンタップ）注文が基本となっていますから、意図せずクリック（タップ）が発生してしまって気がつかないうちにポジションを持っていた、なんてこともあり得ますから、**トレードを終えてログアウトする際などは保有ポジションなどを確認する習慣をつけるとなお良い**でしょう。

### Point 3. 兼業トレーダーは誰もが経験する『寝落ち』、適度な休息を…

これも代表的なFXあるあるですねw トレードしているうちに眠くなって、夢の中に突入してしまう『寝落ち』です。お仕事をしている方はどうしてもやってしまいがちな傾向があるので、ご注意くださいと思います。

やはり相場が動くのは NY 時間帯ということで、日本時間だと深夜から早朝にかけてですから、日本人にとっては最高に眠い時間にチャンスが訪れることが多く、チャンスを待っているうちについつい夜更かししてしまい・・・というパターンです。

寝ている間に暴騰・暴落といった激しい値動きがあって、起きた頃には取り返しのつかないことになっていたとならないよう、スキャルピングを中心にした短期トレードで高いレバレッジをかけている方は特にご注意ください。





そして、こういったミスをしないためには、普段から眠い時はトレードをしない、疲れている時は一旦休んでから参加するといった一定のルールを作っておくと良いかもしれません。

さらに、疲れていて集中力がない状態で無理にトレードしても、力を出し切れずに結果が伴わないといったことになりかねませんから、体調を万全にしてトレードに臨むということを普段から意識しておきたいところでしょう。

#### Point 4. 過度な期待はNG!『スワップポイント』の魔力とは?

最近 FX を始めたという方はあまり知らないかもしれませんが、リーマンショック前までは『スワップポイント』狙いのトレードが旺盛を極めた時代でもありました。

このスワップポイントとは、2 国間の金利差によって発生する利益です。例えば日本のように金利が低く預貯金に全然利息のつかないような通貨を売って、新興国のように金利が高く預貯金にバンバン利息がつく通貨を買うと発生するわけですね。

FX の場合は、この 2 国間の金利差に伴う利息（スワップポイント）がほぼ毎日受け取れるということもあって、これを狙って取引をするトレーダーも多くいます。

もちろん、相場に対して大局観を持ち、スワップポイントを生かした中長期的なトレードを行うというのであれば問題ありませんが、あくまで FX のメインは為替相場の変動による差益を得ることに他なりませんから、必要以上に捉われないようにしたいですね。

#### Point 5. 念のために今から考えておきたい『税金』の話…

プラスにならないのであれば心配する必要はありませんが、ここ最近はマイナンバーが導入されましたし、FX に対する税務署の目というのも徐々に強まっているせいか、たまに脱税容疑で逮捕されたといったニュースを耳にします。



申告する必要があるか否かというのは職業や年収、その他の所得状況などによって異なるため一概には言えませんが、少なくとも 20 万円を超える利益が出た場合には確定申告が必要とされています。

主婦や学生といった方は、FX を含めた所得が 38 万円以下であれば確定申告は必要ないとされていますが、気になる方は管轄の税務署などに確認するのが一番です。ちなみに FX に関係なく、そもそも確定申告が必要な方は利益が 1 円でも出れば記載する必要がありますので、ご注意ください。

そして、日頃からの備えとしてやっておきたいのは、領収書をしっかり集めておくということです。もちろん、レシートでも大丈夫なので、必ず全て捨てずにとっておきましょう。

どこまでが経費かというのは、税務署員それぞれによって判断が異なるとされるほど曖昧な線引きなのですが、ネット使用料や電気代の一部、FX 関連の書籍の購入費、セミナーにかかった費用やそれに伴う交通費などは認められる可能性が高いとされていますので、しっかりとっておいて稼いだ場合の節税に役立てたいところです。

レシートはついつい捨ててしまいがちですし、もらい忘れることも多いですからね。ちょっとした手間ですが節税につながりますので、もらう習慣をつけるようにすると良いでしょう。

また、税金のルールというのはやはり複雑ですし、本当に節税を考えるとあれば税理士に相談するのもアリです。ゆきママも確定申告は税理士にお任せしていますが、やはり専門家じゃないとわからないような節税方法もたくさんありますからね。

ちなみに FX では 3 年間の繰越控除が認められており、仮に 2019 年に FX で損した場合、2022 年分まで繰越することが可能となっています。

具体的には、2019 年に 100 万円の損失を申告しておけば、2020 年に 20 万円稼いだとしても相殺できます。2021 年に 50 万円稼いでも、まだ繰越で 30 万円残るため、2022 年は 30 万円までなら全額相殺できます。



ただし、損失の繰越控除を利用するには、損失が発生した翌年以降、損失を繰り越す期間中は取引の有無にかかわらず毎年確定申告をする必要があるので注意しましょう。

詳しくは DMM FX のサポートページ「税金と確定申告～確定申告って?～ (<https://fx.dmm.com/support/tax/>)」でも公開されていますので、ぜひ一度確認していただければと思います。

とにかく、まずは稼ぐことを想定しつつ、もし年末近くなって確定申告するのが面倒だなという方は、20 万円までとか 38 万円といった利益で止めるということもできますから、税金のことも頭の片隅に置きつつトレードしていきましょう。

## Point 6. 各国の『経済指標・イベント』はちゃんと調べて確認しましょう!

まず、『経済指標』というのは、経済状況を構成する要素（物価、金利、景気感アンケート、住宅価格など）を意味しています。結局のところ、為替動向は各国の経済状況に大きく影響されますから、こういった指標が重視されています。

ほぼ毎日発表されていますので、必ず事前に確認して重要な指標が発表される前には、ポジションを調整しておくなどといった対策を忘れずにやっておきたいですね。

とりわけアメリカの雇用統計は、月に 1 度のお祭りとしても知られており、相場が乱高下したりスプレッドが広がって含み損が大きく拡大することもありますから、警戒しておきましょう。

この他、選挙に代表される政治的な『イベント』でも大きく相場が動かされます。アメリカの大統領選挙でトランプが勝利した時の乱高下というのは記憶に新しいところです。

このような指標やイベントによって相場は大きく動きますから、日々のスケジュールはしっかり把握しておきましょう。

FX 各社の HP で確認できますし、ゆきママのブログでは政治的イベントを含めて値動き要因となりそうなものを毎日ピックアップして解説しています。この次の第 3 章では、ゆきママの選んだ重要指標やイベントについていくつか紹介させていただきますので、最後までお読みいただければと思います。



## Point 7. 経済指標は『夏時間・冬時間』によって発表時刻がズれる!?

日本人にはあまりなじみのない『サマータイム（夏時間）』。これは 1 年のうち夏を中心とした期間に太陽の出ている時間帯を有効活用する目的で、標準時を 1 時間進めるという制度で、欧米ではほとんどの国で行われています。

では、なぜこれが重要かというと、この夏時間に伴い、経済指標の発表時刻も 1 時間早まるからですね。FX を始めて数ヶ月もすると、経済指標が何時に発表されるかがわかってくるので、ついつい確認を怠ってしまったりします。

しかしながら、これが大きな落とし穴なんですよね。夏時間に切り替わった、あるいは終わったのにも関わらず、呑気に構えていると相場が急激な値動きをして・・・。

普段であれば、経済指標の発表に備えてノーポジション（ポジションを持っていない状態）にしているのに、後の祭りになってしまったなんてことの無いようにしたいですね。

さらに、各社の取引可能な時間帯も夏時間と冬時間で異なるため、金曜日のマーケットクローズ前にポジションを決済しておくつもりが間に合わず、持ち越した結果、月曜日はまさかの窓開けスタートで・・・。といったパターンもあり得ますから、注意しましょう。

※夏時間は、アメリカなら 3 月の第 2 日曜日に始まり、11 月の第 1 日曜日に終了。EU では、3 月の最終日曜日から 10 月の最終日曜日までとされています。



第2章

## ゆきママ流 トレード手法で攻略

いよいよ具体的なトレードテクニック、分析手法について解説していきましょう！これで完璧、というような手法は存在しませんが、ゆきママが日々研鑽を重ねてきた手法を余すことなくまとめていますので、ぜひ繰り返し読んで自分のモノにしていいただければと思います。



### 3ステップでトレードをラクラク成功に導く

#### Step 1. 適切なポジションサイズとは？ 一発退場しないことを心がけましょう！

適切なポジションサイズ、あるいはどの程度で損切りするのかというのを事前に考えておくといいでしょう。

いわゆる資金管理にも通じる話ですが、ここではトレード1回あたりのロット数（ポジションサイズ）や損切りに対する考え方について具体的に解説していきます。

#### ▶ 資金面と心理面の両方から、自分自身の損失許容度を考える

ポジションサイズを考える上で、資金面は当然として、心理面も忘れてはなりません。なので、最初に自分自身がどれぐらいの損失に耐えられるのか、ということを考えていくといいでしょう。

FXはメンタルが全てとも言われるほどで、デモトレードでは成功していたのに、実際のトレードでは全然うまくいかないといった声は非常に多いです。やはり自分の保有するポジションの含み損などを眺めていると、ついつい冷静な判断ができなくなってしまうというのは本当にありがちな話なんですね。





プレッシャーに耐えられず、細かい損切りを繰り返してしまうのでは元も子もありません。したがって、ほぼ平常心でトレードできるようなポジションサイズというのが心理面における適切な目安ですので、ぜひしっかり見極めておきましょう。

次に資金面からですが、これはトレードスタイルや取引手法によって異なるので一概には言えませんが、とにかく一発で退場することは絶対にないようにしましょう。

目安としては、**1回の損失における投資資金の減少幅は最大でも2～10%程度**です。この場合だと、10～50連敗程度で軍資金がゼロという状態です。

カジノのルーレットをやったことがある方はよくご存じかと思いますが、実は赤が10連続でたり、あるいは黒が10連続で出るといったことは、それほど珍しくはありませんからね。つまり、FXに置き換えれば、勝率50%で10連勝することも10連敗することも十分に起こり得ますから、それぐらいには耐えられるようにしておきましょうということです。

ただし、あまり厳格にしてしまうと、細かな損切りが続いてしまったり、そもそも損切りのポイントを見極めるといったトレードそのもののレベルアップにつながらない可能性もあるので、あまり幅をきっちり決めすぎるのもどうかとは思いますが、初心者の方はせいぜい10%も負けたら一旦は撤退すべきポイントだと考えています。

というわけで、心理面と資金面の双方から適正なポジションサイズ、損切りポイントを考えて、適切な資金管理を行うよう努めていきたいところでしょう。トレード手法やテクニカルも重要ですが、まずこういった基本的な事柄を押さえていただければと思います。

## ▶ 損切りは次への投資と考えて迷わずに実行しましょう

損切りは迷わず、いつでもきちんとできることが理想ではありますが、そうはいってもなかなかできないといった方が多いようで、よく相談をいただくことがあります。せっかく損切りのポイントを決めていても、ズルズルと引っ張ってしまっって塩漬けになってしまったという話はFXあるあるなんですよ。





損切りに関しては、本当に経験を積み重ねていくことも大切なので、なかなか一長一短にできるかと言え、人によって個人差はあると思いますが、ゆきママが損切りする際に心がけていることをお話しさせていただきますと、『**損切りは次に備えた投資でもある**』ということです。

一体どういうことかと言え、難しい相場で失敗してしまったとしても、しっかり損切りをしておけば、次の分かりやすいチャンス相場に備えることができます。ぜひ、皆様も次の投資であると考え、致命傷に至らないように取り組んでいただければと思います。

## Step 2. **トレード手法の作り方とは？詰め込みすぎはNGです！**

トレード手法については、多くの方がお悩みとは思いますが、これは本当に個人のライフスタイルや考え方、状況などによって異なってくる側面もあるため、万人にとっての正解はなく、あくまで自分で作っていくというのが求められるでしょう。ですので、ここではちょっとした作り方について紹介しておきます。

### ▶ **トレードのルールはいくつかに分けて少しずつ考える**

先ほど損切りについて書きましたので、実は現時点でルールは1つできています。とにかく、一発で退場することのないような資金管理として、1回あたりの損失を投資資金の2～10%程度にすることです。この範囲内でやると決めているのであれば、決済のルールについては半分ぐらいできていますよね。

ですので、これを利用しつつ、エントリーにおける手法作り、ポジションサイズや利益確定、損切りといった資金管理に関するルールなどを少しずつ決めていけば良いでしょう。やはり知識も経験もないまま、一度に全てのルールを作るとするのは難しいですから、いくつかポイントを分けて考えるようにし、失敗や成功を繰り返しながら徐々に完成させていくというのがベターです。

ここで注意したいのは、詰め込みすぎはNGということです。初心者の方にありがちなのですが、さまざまな手法を調べるあまり、詰め込みすぎて矛盾だらけになったり、自分自身でも把握できないレベルまでルールが肥大化してしまったりして、全くトレードにならないという方もいます。



慣れるまでは基本的にはシンプルな手法の方が、失敗した時も修正がしやすいですから、あまりルールを複雑にしすぎないように心がけるようにしていただければと思います。

ちなみに、ゆきママの手法としては、ファンダメンタルズ分析を中心に、相場の状況を把握し、大体の大まかな方向性を割り出します。例えば、上に行くのか下に行くのか、それともレンジ相場が続くそうなのかといった程度です。

それに加えて、オーソドックスなテクニカル分析をして、エントリーのポイントを絞っていくといった感じです。使用しているテクニカルは、移動平均線やボリンジャーバンド、一目均衡表といったメジャーなものです。多くの人が見ているからこそ、抵抗線・支持線として機能すると考えてのことです。

日々の相場観やトレード戦略については、ブログやツイッターなどでお知らせしていますので、ぜひぜひ今後とも遊びに来ていただければ幸いです。

### Step 3. 日々のトレードについて記録！勉強に終わりはありません…

ゆきママの場合はブログという形で日々の相場観やトレード結果について記録していますが、何らかの形で記録に残しておくことは非常に重要だと考えています。

中には、FX 会社の売買記録のみで十分という方も見受けられますが、その中には何を考えてエントリーしたのかということや、相場へ対するその時の見通しといったことまでは記録されていませんよね。どんなシチュエーションで自分が損を出したのかが分からなければ、反省のしようもないですし、結局はトレードの質が向上することはありません。

なので、できるだけトレードノートを作って記録するようにしましょう。これは、トレード手法を作り出す上でも必須の作業ですので、ゆきママのようにブログにまとめるのもアリですから、ぜひ習慣化していただければと思います。



▶特に負けた時は念入りにしっかり記録するようにしましょう

そして、記録しておくべき内容についてですが、

- (1) 自分が何を考えてトレードしたのか、どう予想していたのか、
- (2) その予想に基づいたトレードの結果、
- (3) 反省点・修正点や今後における備考など、主にこの3点を記録に残しておく、後に見直した時に役立つでしょう。

また、特に負けた時は念入りにしっかり記録しておくといいでしょう。とにかく投資においては致命的な失敗を避けるというのが初心者の方はもちろんのこと、上級者になっても必須のスキルでもありますし、二度と同じ失敗を繰り返さなければ、自ずと勝率は上がってきますからね。

なんといっても、投資の勉強に終わりというものはありません。「これさえ知っておけば勝率9割!」なんて甘い謳い文句で勧誘されたりすることが今後あるかもしれませんが、騙されてはいけません。

相場のみならず世界というのは常に新しい技術が開発され、従来の常識がどんどん覆されていますから、これさえ知っておけば未来永劫通用するなんて知識はそもそも存在しないでしょう。

だからこそ、毎日毎日コツコツと勉強し、長い視点で投資と付き合っていくことが何より重要です。ぜひこのことを理解した上で、トレードしていただければと思います。



トレードに関しては、なかなか確実にコレ！というような方法論はなく、どうしても一般論に終始してしまいます。それでも、テクニックとして「トレードは何回かに分ける」「キリのいい数字の手前でトレードする」というのは有効ですので覚えておきましょう。



初心者の多くは一気にポジションを持ってしまいがちですが、大抵の場合は軽く打診買い、一度のトレードにおけるポジション量を100とすれば、20ぐらいずつ5回ぐらいに分けてトレードした方がポジションが分散され、同時にリスクも分散されますのでオススメです。

やはりピンポイントで安値と高値を見極めるというのは難しいですから、エントリーも決済も何回かに分けることを意識してトレードすると良いでしょう。

また、キリのいい数字の手前でエントリー、決済するのも1つのテクニックです。例えば、買いポジションの利益確定を110.00円でしようと考えた場合は、109.90円でするようにします。

どうしてもキリのいい数字というのは注文が集中しがちで、そこが強力なサポート・レジスタンスラインになってしまう傾向があります。

なかなかラインに到達せず、109.99円まで行ったのに利食いきなかつたということにならないように、全ての注文は大きな節目、キリのいい数字のちょっと手前でやると良いですよ。

## ポイント チェック

- トレードルールはリスクコントロールを重点を置く
- ファンダメンタルズで方向性を割り出しテクニカルを目安に
- FX そのものに長期的な視点で付き合っていく



## 超簡単ファンダメンタルズの分析手法3原則

ゆきママはほぼ完全なファンダ派でテクニカルよりもファンダメンタルズを重視しています。そもそもファンダメンタルズとは経済の基礎条件と訳され、経済指標を中心に分析されることが多いですが、最近は政治動向や金融政策が中心となっていますので、そちらも分析の対象となっています。

経済情勢、政治動向、金融政策をどのように分析するのか、そして情報源はどこから得るのかから詳しく解説していききたいと思います。

### 原則 1 無料の情報源をフル活用する

実はゆきママは月 30 万円近くを新聞の購読料や有料メルマガ・レポートに使っています。ただ、トレードでかなり稼いでいるのであれば別として、始めたばかりの方にとってはかなり大きいコストでしょう。なので、**軌道に乗るまでは無料で優良な情報を得る**ようにしましょう。

#### ▶ウェブサイト

ウェブサイトは本当に基本中の基本ですね。有料のものもありますが、せいぜい月額数千円程度ですので、ぜひ検討していただければと思います。

- ・ 日本経済新聞
- ・ WSJ (ウォールストリートジャーナル)
- ・ ロイター
- ・ ブルームバーグ
- ・ BBC

日本語版サイトもありますが、できれば原文の英語版に当たれると良いでしょう。やはり翻訳までにはラグがあって速報性にかける部分もありますし、一部記事しか翻訳されずに情報不足に陥りがちです。





英語が全然できないという方でも、ここ最近の Google 翻訳は飛躍的にレベルアップしていて、原文をそのまま突っ込むだけで、知識があればそこそこ読めるようになっていきますので、まずは諦めずに読むことが大切です。

## ▶ ツイッター

実は最近ではツイッターが非常に大きな情報源となりつつあります。実際、トレーダーのみならず AI などでもツイートを分析しているとされるほど、注目されています。ちなみに、統計的にはフォロワーが多ければ多いほど情報の信頼度が高いという記事もあるほどです。

- ・岡三マン (@okasanman)：ニュース速報から経済ニュースまで幅広いフィードでつぶやいています。速報性が高いので、情報源として役立ちます。※ 2019 年 1 月からアカウント制限中、復活待ち。偽アカウントに注意。

- ・トランプ大統領 (@realDonaldTrump)：突然重大なことをつぶやいて相場に影響を与えることもしばしば。通称トランプ砲が炸裂します。影響時間は 24 時間近いとの統計データが報じられたことも。

- ・zero hedge (@zerohedge)：世界的な超著名投資ブロガー。超有料級のレポートが無料で公開されていたりするので、フォローはもちろん、ブログも必ずブックマークして欲しい。

- ・松崎美子 (@LondonFX\_N20)：ロンドン FX でお馴染み。イギリス在住のトレーダーの方です。特に英国が中心ですが、欧州も含めて情勢を詳しく解説されているので、ポンドやユーロをトレードする方は必ず押さえておいていただければと思います。

- ・SBI リクイディティ・マーケット (@SBILM)：経済指標を中心に重要な要人発言などを発信しています。

上記に加えて各ニュースサイトもフォローしておく、それほど情報不足に陥ることはないと思います。

また、一部の有料ツールを除けばツイッターの速報性が日に日に高まっていますから、分からない値動きがあればツイッターで検索して調べるという方法もあります。





ただし、情報商材業者も多く存在するため、アカウントをしっかりと厳選するなど、普段から信頼できるトレーダーや情報ソースをリスト化しておくといいでしょう。

## ▶ テレビ

もし家にテレビがあるなら、毎週月曜日～金曜日の 5 時 45 分～朝 7 時 5 分に放送している「News モーニングサテライト」だけはチェックしましょう。

相場を見る上で必要な重要なニュースがコンパクトにまとめられていますし、出演するゲスト、エコノミストがその日の相場展望を解説していますから、特に初心者の方は見る習慣をつけるようにしましょう。

## 原則 2 情報を整理して重要性を評価する

ウェブサイトやツイッターから情報を得られるようになったら、情報を整理して評価する過程に挑戦しましょう。最初は難しく感じるかもしれませんが、毎日やることで徐々に慣れて簡単にできるようになりますから、続けていただければと思います。

- ① 経済情勢（経済指標を中心に原油相場などにも目を向けておく◎）
- ② 政治動向（選挙や支持率、スキャンダルといったものに注目）
- ③ 金融政策（政策はそのものは当然として、長期金利の動向も必ず確認）

上記の材料をトレードする通貨ペアごとに集めましょう。米ドル・円であればアメリカと日本の経済情勢、政治動向、金融政策をそれぞれ材料として探します。特に話題になってない場合は、なくても構いません。

次に、**それらが買い材料なのか売り材料なのかを分類し、点数をつけて**いきます。点数は慣れてくれば 5 段階評価でつけて欲しいですが、慣れないうちは 3 段階評価で重要度の高いものを 10 点、中程度のものを 5 点、全く話題になってないものを 1 点ぐらいで評価します。

例えば、金融政策についてアメリカの FRB から利上げやバランスシート縮小がアナウンスされ、大きく取り上げられているのであれば、ドル買い材料として 10 点。逆に、雇用統計が大きく悪化して経済見通しに暗雲が漂うような場合はドル売り材料として 10 点といった具合です。



できればそれぞれの材料を書き出して点数をつけ、差し引きでドル買い材料の点が高いのか、ドル売り材料の点が高いのかで、今はドル買いになりやすいのかドル売りになりやすいのかを判断します。また、ドル円であれば円も同じように材料を探して点数をつけ、円買いか円売りかを見極めましょう。

こうすることで、通貨ペアの方向性というのはかなり見えやすくなるはずです。重要な材料などについては、ゆきママのブログでも都度解説していますから、ぜひそういったことも見て評価の精度を徐々に上げていただければと思います。

### 原則3 市場の織り込み度合いを考える

情報を収集して評価し、値動き要因が分かってくたら、あとは相場の織り込み度合いが判断できれば、ほぼファンダメンタルズ分析は終了したといっても過言ではありません。

ただ、これも一概に定量的に分析できる話ではないので、どうしてもややフワッとした話にはなってしまいますが、少なくとも複数メディアで同じような展望が語られている場合は、かなりの部分が織り込まれています。

参加者は常に先回り、事前にポジションを仕込んで利益を得ようとするから、どうしても先に先に期待感先行で相場が進みやすく、噂で買って事実で売るパターンが多いです。

このため、発表の結果を見てから相場に入る初心者は負けてしまうことが多いのです。

もちろん、これとは逆に市場が予想していなかった結果になれば、サプライズによる巻き戻しの動きが出やすくなります。

この傾向を利用して、市場の織り込みが進んでいるパターンでは、そのまま流れにそって順張りについていって発表の直前に利益確定する。

また、市場の織り込みとは異なる結果になると考えているのであれば、結果が出る直前に逆張りをすることも検討しましょう。



とりわけ、**海外勢は日銀に対して間違っただ期待をしがちな傾向**があります。ゆきママも過去に日銀への緩和期待が高まって円安が進む流れの中、直前にショートして大きく儲けたことが何度もありました。

このようにファンダメンタルズは、単に事象を分析するだけでなく、市場の織り込み度合いや考え方を見極め、それを利用していくとかなり勝ちやすくなります。

ポイント  
チェック

- ツイッターは有効な情報源、信頼できる発信者を厳選する
- 買い材料、売り材料を点数化して整理すると理解しやすい
- 市場の織り込み具合を判断しながらトレード戦略を考える



### 第3章

## 今後の相場の見どころ&展望

最後に、今後の為替相場における注目ポイントや相場展望について解説おきます。為替の長期見通しは難しいですが、必ず押さえておきたいのは世界の中央銀行とも呼ばれる FRB の動向です。さらに、今年 2019 年は IMF コンセンサスが強く影響しそうです。



### 世界の中央銀行FRBが相場を動かす

冒頭でも書いたようにドルが為替相場の中心ですから、このドルの行く末を決める FRB（連邦準備制度理事会）は最も注目しておかなければなりません。

FRB とは、米国の中央銀行制度の最高意思決定機関で、FRB が開く金融政策の決定会合に年 8 回行われる FOMC（連邦公開市場委員会）があり、FRB の理事と連邦準備銀行総裁らが金融政策や FF レート（政策金利）の金利誘導目標などを決定しています。

繰り返しになりますが、米国の個人消費は世界の GDP の 2 割を占めるとされるほどですし、ドルは基軸通貨であり、世界中の決済に使われていますから、為替相場に与える影響が大きいのです。

FOMC では金融政策や金利を決定した理由について声明文として公表されますから、この中身を読んでドル相場、そして株や債券を含めた全ての市場が動いていくといっても過言ではないでしょう。

ちなみに、基本的に景気が良くインフレ率が上昇する局面では金利を引き上げて、金融市場からドルを吸収するためドル高になります。



逆に景気が悪くなり、インフレ率が低下する場面では金利を引き下げ、金融市場にドルを供給することからドルが売られ、ドル安になりやすくなります。

## ▶ わずか 1 カ月で方針を 180 度変えた FRB

2018 年末からわずか 1 カ月少々で方針を 180 度変えたこの決断は、今後の為替相場にとって大きなターニングポイントとなるかもしれません。

2018 年 12 月の FOMC では、2019 年は 2 回の金利引き上げが想定されていましたが、年明けの暴落を受けて一気に方針を転換し、2019 年 1 月の FOMC では金利引き上げの一旦停止に加え、バランスシートの縮小という金融引き締め策（QT）の早期停止を示唆しました。

この判断の背景について、パウエル FRB 議長は最近のインフレ率が落ち着いたことや、原油価格低下によるインフレ率一段の低下見込みなどを指摘しています。

とはいえ、基本的にインフレ率などはトレンドを確認した上で政策を判断するため、1 カ月で判断がひっくり返るのは異例中の異例といえるでしょう。

## ▶ 利上げスタンスへの転換は難しそう

したがって、今後の金融市場を占う上で最も重要なポイントとなるのは、緩和的スタンス、様子見姿勢になった FRB が、再び利上げといった金融引き締め路線に戻っていくかどうか、また、戻るとすればいつになるのかということでしょう。

これについては今後のインフレ率、つまりは経済指標次第ということになるでしょうが、少なくとも 2019 年内には難しいと考えられます。

やはり、ここ最近是中国・欧州経済の減速が目立ち始めており、これが原油を中心に商品市況の下振れをもたらし、さらにインフレ圧力が低下することもあり得ますからね。





米国の経済が際立って好調となり、インフレ率が大きく上昇していきならともかくとして、米国自体も住宅関連指標といった先行指標には陰りが見えており、注意しなければならない状況ですから、かなり厳しいと言わざるを得ません。

そして、FRB が利上げをしないということは、ドルは売られやすくなりますから、まずはそのつもりで見ておきましょう。

## ▶ 二大責務と雇用統計が今後のポイント

FRB の二大責務は「物価の安定」と「雇用の最大化」とされますが、これが今後の展望を左右することになるでしょう。

物価の安定というのは、当然ですがインフレのことです。とりわけ、賃金インフレは硬直性があるため、FRB は厳粛に受け止める傾向がありますから、雇用統計で発表される平均時給の伸びには注目しておきましょう。

また、雇用の最大化も大きな責務です。一時期は米国は完全雇用に達したとされ、雇用の最大化が達成されたと見る向きもありました。

ところが、ここに来て NFP（非農業部門雇用者数）の伸びが平均で前月比 + 20 万人増という強い伸びを記録しています。これは労働参加率の上昇からも分かるように、好景気でこれまで職探しを諦めていた人が戻ってきているためです。

つまり、**まだ雇用の最大化は達成されていないということになり、労働者が供給され続けるということは、平均時給が抑えられ賃金インフレは起こりにくいという状況**にあります。

今後は雇用統計の NFP と平均時給の伸びが注目されますが、雇用者数が大幅に伸び続けてピークアウトし、平均時給が大きく伸び続けるような賃金インフレが確認されない限りは、以前のような金融政策の引き締めに動く可能性は低いと考えられるでしょう。

したがって、今後も FRB の緩和的なスタンスが続く限り、ドルは買われにくいということは覚えておきましょう。





雇用者数が伸び続けているから、過度にインフレを気にしなくて良かった！景気見通しなどトータルで判断するけど、原油などの商品価格も下落傾向が続くなら、緩和的なスタンスは変わらないと思うよ！



パウエル FRB 議長

## ポイント チェック

- マーケット全てを揺るがす FRB、FOMC には最大限注目
- 原油価格を中心とした商品相場もインフレに影響する
- 雇用統計で雇用者と平均時給の伸びを必ず確認する



## 2019年は米中貿易戦争とIMFが鍵

2019年というより、2019年以降はしばらく米中貿易戦争とIMFコンセンサスがキーポイントとなりそうです。

個人的な見解として、米中貿易戦争は長期化を予想しており、世界的な経済の減速につながることでしょう。したがって相場としては株安の円高、そしてドル安を想定しています。

しかしながら、この危機に対応するためにIMFが率先して緩和的な政策を呼びかけており、米中貿易戦争とIMFコンセンサスの間で相場が揺れ動くことになるでしょう。

▶ トランプ政権が続くなら米中貿易戦争も継続か



まず、米中貿易戦争はトランプ大統領のアメリカン・ファーストが発端です。もちろん、貿易拡大をめざして打ち出された一帯一路構想に欧米が危機感を抱いたことも無関係ではないでしょうが、トランプ以外だったら、ここまで強硬に中国と対立することはなかったでしょう。

というのも、中国との貿易を否定することは自国経済にとってもダメージは避けられません。実際、ドイツなどは技術が盗まれていることに危機感を抱きながらも、中国との対立激化は避けようとしています。

したがって、2020年の大統領選挙でトランプが敗北し、大統領が変われば米中貿易戦争が終わる可能性は高いでしょう。裏を返せば、トランプが大統領である限り米中の対立は続くでしょう。

## ▶ 内需への転換は間に合わず中国も引くに引けない

ある程度の妥協はあるでしょうが、中国も引くに引けない事情があります。トランプに華を持たせて終わりにするのではといった見方が大勢となりつつありますが、中国がトランプを満足させるぐらい妥協する可能性は今後も低いように思われます。

というのも、中国の経済成長は近年 6% 台にまで落ち込んでいます。中国の経済指標は、そもそもとして信用性が低く、政府の目標値と言われているのですが、それで 6% 台まで落ち込んでいるのです。

そして、この落ち込みをなんとかするために中国も外需型から内需型に転換を図っていますが、全く間に合わないからこそ世界中に睨まれる覚悟で一帯一路政策を打ち出したのです。

そう考えると中国も簡単に妥協するわけにはいかないでしょう。むしろ、アメリカの大統領は 2 期 8 年が上限と決まっていますから、中国はトランプが退陣するまで待つことも検討していることでしょう。早ければ来年、長くても 5 年後にトランプ政権は終わっているわけですからね。

## ▶ 中国が妥協する可能性はゼロではないがまだ先か

もっとも、中国が妥協する可能性はゼロではありません。もしあるとすれば、経済の停滞から、いよいよ中国共産党の体制維持が危なくなった時でしょう。



日本ではほとんど報じられていませんが、中国では政府に批判的なデモが毎日数百件単位で発生しています。

中国も必死で産業構造の再編をしているのですが、裏では失業率の上昇を招いており、さまざまな矛盾が生じています。だからこそ、政府に批判的な人々を次々と摘発しているわけです。

共産党に政治的な危機が生じれば、中国も妥協を迫られる可能性はありそうですが、まだしばらくは先なのかなと考えています。

## ▶ IMF はデフレ懸念から再び緩和政策を呼びかける

ここ最近、IMF（国際通貨基金）のラガルド専務理事の存在感が再び強まりつつあります。背景には世界的な経済への停滞懸念から、再度、IMF コンセンサスによる緩和的な金融政策スタンスが広まりつつあることがあります。

日銀の異次元緩和は記憶に新しいところですが、リーマンショックで落ち込んだ直後の時期は先進各国の中銀、FRB も ECB（欧州中央銀行）も協調して量的緩和政策を積極的に打ち出して、低迷していた経済状況を復活することに成功しています。

これが再びということですね。IMF が 1 月に世界経済の見通し下振れを発表して以降、FRB は急に緩和的なスタンスに変わりました。

今後はこれに ECB が続くかどうか注目したいところでしょう。まだ引き締め姿勢に軸足を残しているドラギ ECB 総裁も緩和的になれば、いよいよ IMF コンセンサスが現実となると認識しておきたいところです。

## ▶ ドラギが緩和的なスタンスにならずとも後任が

ただし、任期を考えるとドラギ総裁は先鞭をつけようとする可能性がゼロではありません。2019 年 10 月の任期満了前に正常化を実施するかもしれません。

もっとも、ドラギ総裁の後任がパウエル FRB 議長のようにひっくり返していくパターンも考えられますから、ECB を見る際はドラギ総裁だけにとらわれず、後任人事にも注目しておきましょう。



市場に寄り添ってはいるが、完全に正常化を諦めてはいない！今後の指標次第では退任前に利上げをする可能性もあるよ！



ドラギ ECB 総裁

## ▶ 米中貿易戦争と IMF コンセンサスの狭間で

このように **2019 年以降は米中貿易戦争という景気の下振れ・悪化要因と、IMF コンセンサスという景気の下支え・改善要因のどちらが強いかで相場全体が動いていくことになる**でしょう。

目先、2019 年中は IMF コンセンサスに ECB が続けば景気が下支えられる可能性が、それなりにありそうですが、各国中銀としても打てる手はそれほどありません。

したがって、徐々に徐々に株価は下押されるでしょうし、それに伴って円高という流れが想定されそうですので、この 2 点に注目して相場全体を見ていただければと思います。

### ポイント チェック

- 米中貿易戦争は長期化する可能性、中国も引くわけにいかない
- ECB も IMF コンセンサスに続けば短期的に相場が支えられる
- 長期的には世界的な景気の減速が想定されるため、それに備える



## おわりに ～地に足をつけて真の投資家になろう～

最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。このレポートが皆様のFX ライフの役に立つことを願ってやみません。

そして、真の投資家になるためのお話をさせていただければと思います。同じことを繰り返している部分もありますが、これを最後のメッセージとさせていただきます。

皆さまは短期的なトレードは投機、ギャンブルで、長期的な運用は投資といった言葉に騙されていませんか？実は本来の経済理論の世界では、特に投資と投機を明確に区別する定義は存在しません。

それでも、日本でこのような価値観が根付いてしまったのは、過去の証券会社が投資は投機と違ってギャンブルではないというために、勝手に長期運用は良くて社会貢献にも繋がるというフレーズを使ったことが始まりです。

投資の世界は、長期運用をしたから勝てるという甘い世界ではありません。こういった喧伝を信じ、勧められるままに虎の子の大切なお金を運用することこそが、投機でありギャンブルと言えるのではないのでしょうか。

地に足をつけた投資をするために必要なことは、商品の特徴を知り、日々勉強を続けることです。投資の世界にこれを学んだから終わりというバイブルはありません。**常に変動し続ける値動きを追いかけて、地道な努力を続けるしかない**のです。

ぜひ、このレポートを読んで慢心することなく、皆様が着実に真の投資家への道を歩んでいただければ幸いです。



公 式  
サイト

ゆきママFX速報  
(大切なお金を守るための情報サイト)  
<https://yukimama.net/>

普通の主婦ゆきママがFXと株を  
シストレで攻略するブログ!  
<https://yukimama.net/fks/>

twitter  [@yukimamafx](https://twitter.com/yukimamafx)

facebook <https://www.facebook.com/fxshufoo>

#### 【免責事項】

本レポートは情報の提供を目的としており、投資その他の行動を助言・勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。本レポートの情報の利用はもとより、FX等の投資はご自身の判断とリスク負担のもとで行っていただきますようお願いいたします。

また、本レポートに記述してある情報の正確性については万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。したがって、記載が不正確であったことにより生じたいかなる損害に関しても、一切の責任を負わないものとします。

税に関する記載内容については、あくまで筆者の理解ですので、詳細については、国税庁のWebサイトをご覧ください。か、税務署や税理士等の専門家にお問い合わせください。

#### 【ご注意】

本レポートを許可なく転載、公開することは固くお断りいたします。また、本レポートを複製したり、他の媒体に再利用したりする行為も著作権法により禁止されていますので、十分にご注意くださるようお願いいたします。

Copyright © 2019 Yukimama All Rights Reserved.